

東日本大震災みやぎこども育英募金 寄附者の皆様へのメッセージ



はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが被災し、様々な問題を抱えることとなりました。

これを受け、宮城県では、同年より「東日本大震災みやぎこども育英募金」の受け入れを開始しました。皆様からお寄せいただいたご寄附は「東日本大震災みやぎこども育英基金」として積み立て、東日本大震災により影響を受けた子どもたちへの支援に活用しています。

このたび、東日本大震災みやぎこども育英募金へ寄附をしてくださった皆様へのメッセージをお寄せいただきました。メッセージは、寄附金を活用した支援金・奨学金*をお届けした子どもたち、そして、保護者の方々により、平成29年7月から8月にかけて書かれたものです。

これからご紹介するメッセージには、感謝の気持ちや現在の状況などが、思い思いの形でつづられています。本メッセージ集により、東日本大震災で被災された方々の思いを伝えることができれば幸いです。



©宮城県・旭プロダクション

*東日本大震災みやぎこども育英基金 支援金・奨学金

宮城県では、両親を亡くした震災孤児が**139人**、両親のいずれかを亡くした震災遺児が**954人**となっており、合わせて**1,093人**（震災時大学生含む）の子どもたちが親を亡くしています。こうした子どもたちが安定した生活を送り、希望する進路選択を実現できるよう、奨学金等を給付しています。

目 次

 子どもたちからのメッセージ・・・・・・・・・・ 1

 保護者の方からのメッセージ・・・・・・・・・・ 21

 家族からのメッセージ・・・・・・・・・・ 37

～ 子どもたちからのメッセージ ～



小学校4年生より

毎年ありがとうございます。お母さんは、高木交のときのために、
ためておくと言っていました。
毎日おこられ続けているので、おこられたいようにし
たいです。



小学校4年生より

いつもおうえししてくれてありがとうございます。

私はスポーツも勉強もがんばっています。





小学校4年生より



小学校4年生より

さいきんぼくが、がんばっていることは、お絵かき
です。自分で考えたキャラクターやいろいろな
物をかきます。

でももっとがんばりたいことは漢字です。にがてなかん
じがあるのでがんばりたいです。

いつもおうえんしてくれてありがとうございます。



小学校5年生より

寄附をしてくれた方々に感謝しています。全国からあたたかい、寄附が寄せられてうれしくて。私は寄附をして下さったみなさんのおかげで嬉しくしています。ありがとうございます。



小学校6年生より

学校の勉強やマーチングなどをがんばっています。

そしてつねに1回は外で遊びがようがんばっています。

ありがとうございました。



小学校6年生より

今、くにサッカーと空手をかんばっています。
今年最後のスポ小などで、日々の練習をかんばっています。今年の目標は空手で黒帯をとること、サッカーで県大会に出場することです。



中学校1年生より

私は、小学校入学する3月に、震災にあつて、家を流され、
インターネット、机も、母も、とてあなしく、さみしかつたけど
今は友達もできて、バドミントンの部活もしています。
母がいないけど、兄弟と、妹と、仲よく元気に ~~がんばり~~ かんばり
たいと思います。
これからもあせわになります。ありがとうございます。



中学校1年生より

毎年おがとうございます。

今年から中学生になり忙しいです。

応援して下さる皆様のためにもがんばりたいです。



中学校1年生より

駅伝、陸上、部活に取り組んでいます。

駅伝は、学校の代表として3キロ走ります。

陸上は、共通だから、4種に出ます。

(100mハードル、200m、走り高跳び、砲丸投げ)

部活は、新人戦に向けて、県大会目指しています。

今まで、地~~区~~_区で3回のは、中なので

つばけたいです。



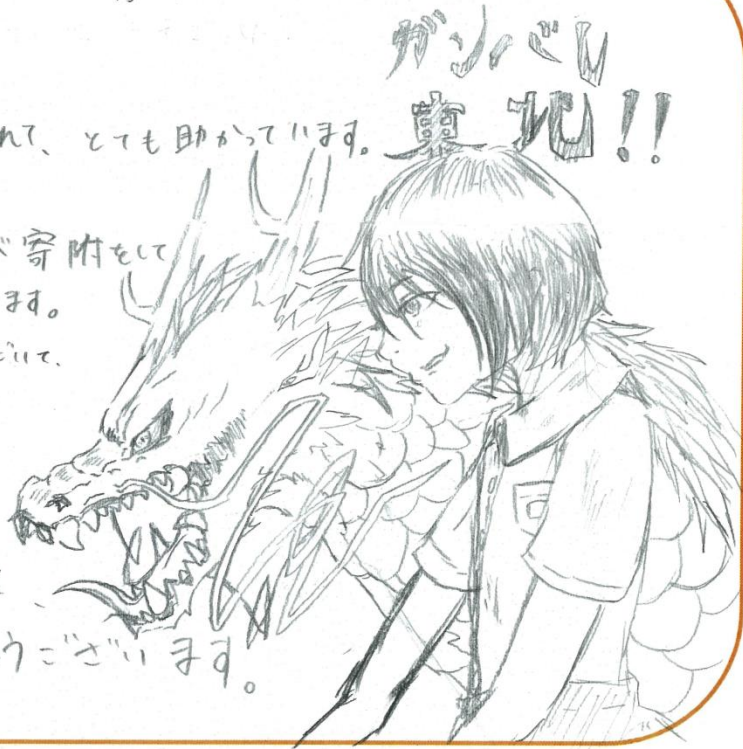
中学校2年生より

寄附してくれた方々へ

いつも寄附をしてくれて、とても助かっています。

今、中学では皆さんが寄附をしてくれのおかげで勉強ができています。
皆さんのご支援をしていただいたこと、とても感謝しています。

東北を支えてくれて、
どうもありがとうございます。



中学校2年生より

寄附をしてくださった方々へ ♪

東日本大震災から6年たった今も寄附をしてくださってありがとうございます。

私は寄附のおかげで今まで習い事を続けられたりおいしいごはんを毎日食べることができています。これから勉強をたくさんして希望している高校に受かるように頑張りたいです。



中学校2年生より

私は、色々な事情で今愛知県にいます。今、通っている学校は私学で公立よりもお金がかかるので、今元気に楽しく過ごせているのは寄附をしてくださった方々のおかげです。震災当時は、お父さんをもてくしてかなり落ちこんでいましたが、寄附をしてくださった方々から応援されているような気持ちになり、とても勇気がわいてきてお父さんの分も頑張って生きていこうという気持ちか今あります。寄附してくださった方に今の自分ができることは、元気に毎日を送り、勉強に励み、感謝の気持ちも忘れずにいることだと思っています。寄附してくださった方々への感謝の気持ちもこれからも心に留めて過ごしたいです。寄附をしてくださって本当にありがとうございます。



中学校2年生より

東日本大震災「みやぎ」子ども

育英募金に寄附していただいた皆様ありがとうございます。

私は中学2年生になりました。

私はバレー部に入って、新チームとなり、キャプテンになりました。

今は、めざしている新人戦優勝と中総体優勝して県大会にいくために

日々の練習や練習試合をがんばっています。

これからも勉強と部活をがんばっていきたいと思っています。



中学校3年生より

いつも応援ありがとうございます。

寄附金や応援のおかげでいつも様々な

おことに身ぶり組むことができ、今では

生徒会長を務めさせて頂いて

おります。

これからも元気で頑張ります！



中学校3年生より

いつもご支援ありがとうございます。

今年は受験生なのでいただいたお金をワークの購入などに使っています。

第一志望の高校に合格できるように頑張りたいです。

これからもご支援よろしくお願いします。



中学校3年生より

野球では県大会へ行けなかったけれども陸上で県大会へ行きました。

陸上の県大会では悔いが残らないようにがんばってきました。



中学校3年生より

寄附をしてくださった方々にはいつも感謝の気持ちでいっぱい
です。

私は今年受験生です。私には夢があり、その夢を叶えるためには
たくさん勉強する必要があります。寄附してくださった方々のために
も、その夢を実現させて、恩返しをしたいです。



高校1年生より

いつもお返事をありがとうございます。

高校生活ではとても良い時間を過ごしています。

ダンスやアフレコなど様々な事にチャレンジし、
より幅広い分野にチャレンジする様になりました。

お母さんのおかげで毎日を楽しみながら
暮らせています。



高校2年生より

いつも、ご支援ありがとうございます。

私は高校2年生なので、あと半年で受験生です。

いつも支援してくださる方々への感謝を忘れずに、高校
での学習にしっかり取り組んでいこうと思います。



高校2年生より

皆様から 寄附金を頂いているおかげで
今の 私達 があります。

来年は 早くも 受験です。寄附金をくださった方々に
感謝を忘れず、これからも生活していきたいと
思います。

本当に 皆様 ありがとうございます。



高校2年生より

東日本大震災から丸6年が経ち、当時小学四年生
だった私も、今では高校二年生になりました。
学年が上がり課題も増え大変になってきましたし、
また、部活動では、先輩達が引退し、私達二年生が
中心となって活動するようになり、忙しい毎日を
送っています。

ご支援して頂きました皆様には大変感謝して
おります。



高校2年生より

いつもありがとうございます。

私は高校2年生となり、毎日勉強と部活動に頑張っています。勉強の方では日々の授業について行くのに大変です。部活の方では、先輩方が引退して新体制となり、自分たちが中心となって楽しくやっています。

もう少しで夏休みに入り、遠征や試合が多くなりますが、暑さにも負けず体調管理をしっかり行って頑張っていきたいと思います。



高校2年生より

高校2年生になることができました。

私は大学に行きたいので今年の夏から受験勉強をはじめようと思っています。

部活動もJRC部を続けているのですきま時間を大切に勉強することも必要だなあ、と考えていました。

ありがとうございました。これからも応援して頂けると嬉しいです。



高校2年生より

高校2年生になり、検定も多くなってきて、そのために使わせて
いただいております。感謝でいっぱいです。



高校3年生より

今、志望校も決まり進路に向けて頑張っています。
将来は看護師になりたいと思っています。
学校生活では、友達と楽しく過ごしていて、文化祭の
準備が少しずつ始まってきました。
今年は、受験勉強に力を注ぎ第1志望合格を
勝ち取りたいです。
寄附していただきありがとうございます。
大切にに使わせてもらいます。



高校3年生より

皆様のおかげで自分の夢をあきらめずに
叶えようと思いました。
保育士になれるよう高校卒業後も頑張ります。
ありがとうございました😊



高校3年生より

部活も一段落して、勉強漬けの毎日を送っています。将来、多くの社会貢献
をできるように勉学により一層励んでいきます。



専門学校1年生より

いつも支援いただきありがとうございます。

入学してから保育の勉強をしているのですが、最近はお祭りに子どもと接する実習を行っています。教科書からだけでは分からないような子どもへの知識や声のかけ方などを実践して取り組めるのがとてもいい経験なさせてもらっています。

また、他の学校にはないような知見向けのクッキング授業や正しい体の使い方についての授業があり、今まで知らなかったことがたくさん学んでいるので、これからの自分の武器にしていきたいと思っています。

初めて参加した文化祭では、少人数ではありましたが、みんなの子ども連れの保護者さまに来ていただき、一番人気を取る事ができました。思っていたよりも子どもは素直でかわいかったです。これからもこのように経験を楽しくに頑張りたいです。

これからもよろしくお付き合いします。



専門学校1年生より

いつも支援していただきありがとうございます。

今は専門学校に通っています。

将来は看護助手を目指して頑張っています。

これからも勉強を一生懸命頑張ります！

応援よろしくをお願いします。



大学1年生より

震災から6年以上が経って、だんだんと復興が進み、“震災”という言葉が消えつつある今でも、このように温かく、優しく支えて下さる方々がいることに本当に感謝しています。

私はこのように多くの方々に支えていただいているお陰で震災の悲しさ、苦しさに負けず、看護師になり、1人でも多くの人を支えたい、という夢を持つことができます。

温かいご支援、本当にありがとうございます。



大学1年生より

ご寄附をしてくださった皆様、本当にありがとうございます。

言葉にできないくらいの感謝しかありません。見知らぬ他人ではありますが、心優しい方々なんだと、とても強く感じます。大切なお金を、こうやって自分や、同じ境遇の人々に、ご寄附していただけること本当に恐縮でございます。

皆さまから、いただいているお金がとてつもない大金に思えてきて、ぞんざいには、絶対に扱えない大切なものです。皆様がどんな気持ちで、送ってくださったのかを考えてみると本当に大切に大切に使うてはいけないと自然と思っています。この感謝の気持ちを忘れずにこれからも勉学に励み、

精進していこうと、思います。ご寄附していただいた皆さん本当に

ありがとうございました。



大学1年生より

大学は高校までとは違い、自分で考え行動することが大切です。
入学して4ヵ月ほどが過ぎましたが、大分生活にも慣れてきました。
これからはもっと自ら行動して大学生活をよりよいものにしていきたいと考えています。
また、今までに比べて自分の自由にできる時間も多くなりました。
勉強と休息、趣味の時間のバランスに気を付けて生活していきたいと思います。



大学2年生より

寄附をしてくださった方々のおかげで、
私は今、将来の夢である“養護教諭”を目指して日々勉強に取り組むことができます。
寄附のありがたみを感じながら、サークル活動と勉強を両立して頑張っていきます。😊



大学3年生より

私は現在、東京の4年制の大学で政治経済を学んでいます。
東日本大震災が起こった当時は、父と祖母を亡くしてショックや、
母の負担を考えたうえで、関東圏への進学はあきらめようと思っていました。
しかし「東日本大震災みやぎこども育英会」様をはじめとする、多くの
方々の寄附による支援をうけ、自分の夢を実現させることができました。
大学3年生けれど、就職のことを考えなければならぬ学年となり
ました。将来は地元である宮城県に戻り、公務員として、
震災からの復興に携わることができたらと思っています。
みなさまからの寄附を無駄にしないよう、残りの大学生活を悔いの
ないよう一生懸命過ごしていきたいと思っています。
本当にありがとうございます。これからも応援、よろしくお願ひします。



大学3年生より

みなさまの寄附のおかげで、様々なことに
挑戦し経験するチャンスがありました。

将来に役立つようなことにたくさんチャレンジして
素敵な大人になって、私も誰か若い人たちの
手助けをできるようにいかなりたいと思います。
いつもありがとうございます。



大学3年生より

震災当時、中学2年生だった私は、今大学3年生です。私がここまでこれたのも、寄附をして下さった方々のおかげであると思っております。現在、私は大学で小学校教諭になるための勉強をしております。宮城県で教師になり、子どもたちに震災のことを伝えていったり、子どもたちの心により添える教師になることが私の目標です。震災当時は、大学に進学するとは思っていませんでしたが、まわりの方々のあたたかいサポートで生活してることができました。これからも支えて下さった方々に感謝の気持ちを持ちながら、生活していきたいと思っております。本当にありがとうございます。



大学3年生より

「東日本大震災みやぎこども育英募金」にご支援して下さった皆様、本当にありがとうございます。皆様のご支援のおかげで私は大学に進学することが、選択の幅が広がりました。これからも勉強を重ね、社会に貢献できるよう努力していきます。



大学4年生より

寄附をしてくださった方のおかげで大学へ通えています。
現在私は大学4年生で就職活動を行っています。
大学で学んだことや人間関係は私の財産です。
私が今やりたいことに取り組んでいることに感謝し、私も今後、
誰かのためになるようなことに積極的に取り組んでいきたいと
思っています。ありがとうございました。

～ 保護者の方からのメッセージ ～



未就学児の母より

震災直前に産まれた娘も、お才になりました。
443gの超低体重児にも関わらず、体の
方はおかげ様で元気に育っております。
言葉の発達も遅れ、只今1年の就学
ゆう年を頂き、1年遅れで来春小学校
に入学予定です。
皆様にご支援頂きながらこれから
母子共に頑張るつもりです。
いつか息返しが出来るように日々精進
と思っております。



小学校1年生の母より

震災時のお産した息子が、おかげ様で小学校1年生となりました。
物心がついてきて、少しづつ父がいないこと、お母さんがいないことに色々思いを
めぐらせているようです。この育英募金があるおかげで、私も心に余裕が
出来、精心的にも大変助かっています。本当にありがとうございます。
私も精一杯頑張って、どこかの大学でも行かせてやれるよう努めます。
息子がもう少し大きくなったら、この支援の事、そしてお父さんとお母さんが
いなくても、沢山の人があなたを助けてくれていること、支えてもらっていること
生かされてもらっていることを伝えるにしたいと思います。
1人立までまだまだ先は長いですが、沢山の愛を、3人分生きていて
ほしいと思います。どうぞ今後共宜しくお願い致します。



小学1年生の保護者より

たくさんのあたたかい支援を本当に心から感謝しております。
子供が大きくなった時、皆様からのご寄附によって
たくさん助けられたことをしっかり話したいです。
ありがとうございます。



小学校1年生の祖母より

平成23年3月11日、震災時4ヶ月だった孫も今年4月から
小学1年生になり、元気に通学しております。
ランドセル姿の孫を送り出すたび“ママが生きていたら、どんなに
喜んでいただろうか!”と思う毎日です。
震災当日、勤務が休みのため息子夫婦は休みを利用して
買い物に出かけ、震災にまいりました。息子は勤務先に直行し
ママは自宅へ戻る途中に津波に遭遇し、亡くなりました。
家で眠っていた当時4ヶ月の孫と祖父母の私たちが津波から
逃げ避難して、余震の恐怖を感じながらの想像を絶する
日々を送ったものです。その後震災を振りかえる余裕もなく
日々が過ぎ、今年3月11日ママの七回忌を無事供養できました。
孫の一年生に“おた姿を見るにつけ、ここまで過ごせたのは
支援してくださった地区の方々、行政の方々の支援、そして寄附を
してくださり、孫の成長のために応援していただいている
皆様のおかげ”だと大変感謝しております。本当にありがとう
ございます。その後も各地で災害が起るたび被災者の方々
の気持ちを考えると、心と身体の健康を願うばかりです。

H29.7.



小学校1年生・小学校5年生の保護者より

震災から6年が経過をしましたが、
今でもたくさんの方々に支えていただき
本当にうれしく思っております。
震災当時、まだ生後4ヵ月だった次男も
今年4月から1年生となり毎日楽しく学校へ
通っております。当時の不安な気持ちを思いだすと
今でもとても辛いですが、これまでがんばって子育てを
してこられたという感謝の気持ちを忘れずに
これからもがんばっていきたいと思います。
みなさま、本当にありがとうございます。



小学校2年生の保護者より

長い間、こころあたたまる御寄附ありがとうございます。
大切な寄附金を有効に活用させていただきます。



小学校2年生・小学校6年生の保護者より

ご寄附いただいたみな様、たくさんの元気、勇気をいただき
ありがとうございます。

6年前1才だった息子は小学2年、年中だった娘は小学6年に
なりました。

子供たちにも感謝の気持ちを忘れず、強くなってほしいと思います。

当時の記憶はなくても、少しずつみな様のこと、震災のこと、被災地のことを
しっかり教えたいです。



小学校4年生の保護者より

東日本大震災みやぎこども育英募金を活動している皆様へ
季節により暑い日寒い中、いつも活動いただきありがとうございます。
私達家族はそれぞれ元気に頑張ってお過ごしております。

皆様体調に気をつけてお過ごしくださいね!



小学校4年生・小学校6年生の保護者より

多くの方々のご支援、多大なご親切に支えられ 助けられて
いることに心より感謝致します
今日も6年生の息子と4年生の娘は 元気に学校に
出かけて行きました
皆様方のご親切を無駄にしてしまうことのないよう
子供達が 社会にとって 有用な人になるため 一生懸命
育てることが 私の責任であり、寄付をしてくださった方々
に対する恩返しだと思っております
これからも どうぞ温かい目で 見守っていただけますよう
よろしくお願い致します



小学校4年生・小学校6年生の祖母より

ご寄附をしてくださった全国の皆様ありがとうございます。
震災から6年以上も経過しているのにあたたかいご支援感謝
致しております。私は震災で娘を亡くしました。その娘の子供
小学6年の女子と小学4年の男子をずっと育てております。
私も70才になり孫育ては大変です。でも全国には、こうして
寄りそってくれる心やさしい人達がいっぱいいることをはげみ
にがんばっていきます。孫達にも世の中の少しでも役に立つ人間
に育ててくれればよいなと思っております。
本当にありがとうございました。



小学校5年生の保護者より

いつも全国からのあたたかいご寄付、ありがとうございます。
震災の時、小さかった娘も小学校の5年生になり、笑顔もたくさんみられるようになってきました。「うれしい時」「悲しい時」にも、
たくさんの方々の「あたたかい思い」を考えると
前向きに進もう!! と思っております。



中学校1年生のおばより

全国の皆様暖かいご支援有難うございます。

遺児の甥も今年春お陰様で中学1年生になりました。

大きな病気もせず、元気に学校生活を送っています。

部活も頑張っていて、いい汗掻いている様です。

昨年の3月に漸く復興住宅に入る事が出来ました。

広い一軒屋で2人でとても喜んでいます。

みなさんに支えられ今があります。

本当にご支援ありがとうございます。



中学校2年生の保護者より

これまでの寄附をしてくださった方々にお礼申し上げます。
毎日一生懸命、子供たちと笑ってらせるようにがんばっています。あれから自分も年をとりました。毎日、どうなるか不安でいっぱいです。でも寄附をしていただいた方々に、感謝をして子供も、がんばって、学校に通っています。不登校は前よりも減り、がんばっているんだなと思います。思った事を中々かくことができず
すいません。本当にありがとうございます。



中学校2年生の保護者より

いつも あたにかい 支援、どうもありがとうございます。
心から感謝の気持ちでいっぱいです。

寄附してくださった方々のおかげで、家庭には笑顔が
とまり、子ども達には普通の生活を送らせることが
できています。

本当に本当に ありがとうございます !! っ。



中学校3年生の保護者より

ご支援いただき、ありがとうございます。
震災時、小学2年生の息子が中学3年生になりました。あっという間に年月が過ぎました。小学1年から野球一筋でしたが、中総体が終わり、引退となり、親子共々、これまでの多忙な毎日をなつかしく思っています。これから、約半年は、高校入試に向けて、がんばる息子を応援したいと思います。



中学校3年生・高校2年生の保護者より

震災から6年が過ぎ、今なお、奨学金を受けさせていただいています。ありがとうございます。進級、進学、年々、大切に、有効活用させていただいています。参考書や、小説、検定料など、充当しています。そして、将来、大学進学にそなえて、一部を貯金しています。ありがとうございます。



高校1年生の保護者より

息子は今年無事に支援学校高等学園に入学が決まりました。
部活はパソコン部に入り、少しでも仕事に役立てらしたら…
とがんばっています。これから色々な事を勉強し、
自立出来るようにがんばりたいと本人も言っています。
今年以上に過ごすことが出来るのも皆様のあたたかいご寄附
のおかげだと思っております。これからも無駄にせず
子供の為に使いまわして頂きたいと思っております。
本当にありがとうございます。



高校1年生・高校3年生の祖父より

皆様の浄財を頂戴しまして、真にありがとう
ございます。
お陰様で孫たちは二人とも高校生になり勉学
に励んでおります。
このまま心身共に健康やかに育ってほしいと
願うばかりです。



高校2年生の保護者より

皆様、心遣い本当にありがとうございます。
東日本大震災から6年間が経ちました。
町や環境などは変化しつつありますが、とても
思いあたらは震災当時と変わりません。

しかし、時間等はどんどん過ぎて行く為、日々の毎日を
しっかり進んで行きたいと思っております。
息子も高校生になりました。日々の成長を感じながら
親として道を作る手助けを出来たらと思っております。
本当に皆様のご支援、心遣いありがとうございます。
暑い日が続きますがお体に気をつけて下さい。



高校2年生の保護者より

いつも御支援をいただきありがとうございます。

〇〇は現在、〇〇高校に在学し、2年になりました。

部活は柔道部に所属し、夏休み中も、日々の練習
の他、先週は地区の合同練習会にも四日間通い、休まず
励みました。

学業は今一つ及ばないところがございますが、元気に
毎日を過ごし、友達とも夏祭りを楽しみ、高2の夏休みを
終えようとしております。

今後共、宜しく御支援下さいます様、御願い申し上げます。



高校2年生の保護者より

家族を失った辛さ、悲しさ、日々のさみしさの中で
なんとか生きて行く上で、金銭的によゆうが
あることは非常に助かります。
体調もすぐれない中、無理せず、亡くした家族と
向き合う時間も持ちながら働き、
学業の方も心配なく出来ていることは、
生きる辛さをやわらげてくれます。
ありがとうございます。



高校2年生・専門学校1年生の保護者より

震災時4年生だった息子は高2に、6年生だった娘も
専門学校に進学し、それぞれ夢に向かってまい進して
おります。みな様のあたたかい支援に感謝申し上げます。



高校2年生・専門学校2年生の保護者より

早いもので6年が過ぎました。
孫達もお影様で健康にも恵まれ、
順調に成長しております。
今後社会に出たからの事が心配です。
仕事で行き詰まる事もあるでしょう。
元気に楽しく生活して行ってください。
長い間金銭的に精神的に支えて頂
いた皆様、今後もそれを糧に生活し
て行きたいと思っております。
有難うございました。



高校2年生・高校3年生・大学2年生の母より

子々の子供達が自分の夢に向かい
毎日邁進の事ができています。
あたり前の日常の大切さを感じ。
感謝する心を持って成長に欲しいと
思っています。

—



高校3年生の保護者より

いつもご支援いただきありがとうございます。
娘は高校3年生になり、専門学校進学に向けて
がんばっています。
自分の進みたい道がみつきり、それに向かって
がんばる娘を、応援していきたいと思います。



高校3年生の保護者より

子供達はとても楽しい高校生活だったと
思います。娘は高校3年生なので これからの進路を
どう進めるべきか悩んでいます。
数年前からは とても色々 学校の事 友達の事
話しをしてくれる様になり 気持ちが落ち着いて
来たように見えます。
これからは今まで以上に大変な事があると思っ
ていますが 日々楽しみながら前に進んで行っ
てほしいと考えています。
寄附をしてくださった皆様には感謝してます。
ありがとうございました。



高校3年生・大学3年生の母より

震災津波で主人が行方不明になり、そのまま死亡届を提出したのが、6年前。3月に七回忌も済ませました。

震災の時 中2の娘・小5の息子は、今は、娘は成人し、息子は、将来の人生を考える年齢になりました。

娘は、とてもパパっ子だったので、しばらく パパの話は禁句でした。ただ4月になると、どうしても奨学金や、育英募金の手続きがあるので、話しをせざるをえません。年が経つにつれ、家族でパパのこと、思い出を話す機会になっています。

大学1年では、震災を学ぶオプションの授業も自分の判断で受講したようです。子供たちの成長を実感した6年でした。



高校3年生・ほか一人の保護者より

この6年、他の地域でも災害など多くあり、同じように親を亡くされたお子様も多くいる中、

たえず支援を頂けていることに本当に心から感謝しております。現在収入は減っていく中

長男は来年、関東の大学進学を希望しています。

私の収入や遺族年金では正直、都会へ進学させることは不可能では?!でもなんとか収入をふやさなければ…

そんな日々、不安で悩むこともあります。

このように他人の私たちに支援をたえず頂けて

本当に心の負担も少なく正直本当に救われています。

ありがとうございます!!私にできることは二人の子供たちを世の中の、役に立てる社会人に育てることと思っています。支援をむだにせず正しく親子で力をあわせ生きていきたいと思います。



短期大学1年生の母より

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

娘は、小さい頃から、父親の仕事であった大工になりたいと話しておりましたが、東日本大震災で父が亡くなってから、「自分の夢はなくなった」と話していました。進学するにあたり、娘は自分の進む道、将来の仕事を娘なりに考えた末、やはり、父親と同じ大工になりたいと考えたようです。今年、建築科のある短期大学校に進学し、大工、設計士（建築士）の勉強をさせていただいております。皆様のご支援に、感謝しております。



大学1年生の保護者より

皆様のご支援・応援のおかげで毎回本当に楽しく大学に通い、充実したキャンパスライフを過ごしています。東日本大震災から6年が経ち、段々と将来の事も考えて生活する様にもなってきました。今、当たり前にあるこの幸せな環境は本当にあって当然ではない、素晴らしい事なのだとかみしめながらこれからも家族と生活していきたいと思えます。



大学4年生・大学院修士2年生の保護者より

あたたかいご支援、ありがとうございます。
震災当時、中学生と高校生だった娘2人は、
おかげさまで来春、大学院と大学を卒業します。
無事、就職も内々定をいただきました。
宮城県を離れることになりましたが、これまで皆様
からいただいたご恩を忘れることなく、何か
ひとつでも社会人としてご恩返しができるよう、
努めさせます。
私も特別なことはできませんが、同じ志を持って
これから過ごしていきたいと思っています。
長い間、ありがとうございました。

～ 家族からのメッセージ ～



小学校1年生と保護者より



小学校2年生と祖母より

私は、小学2年生の子供の祖母です。

3人と一緒に、(小2、小2、中1)岩手県で暮らしています。

父親は、宮城県ですが、祖父母で7年になるサーレ、いつも思います。

今は、元気でスポーツ少年団のバドミントンも初めました。走ったり、運動が大好きで、皆様のおかげ様で、

あかるく元気に、なつた母親を思い出したから、お喜んでいます。

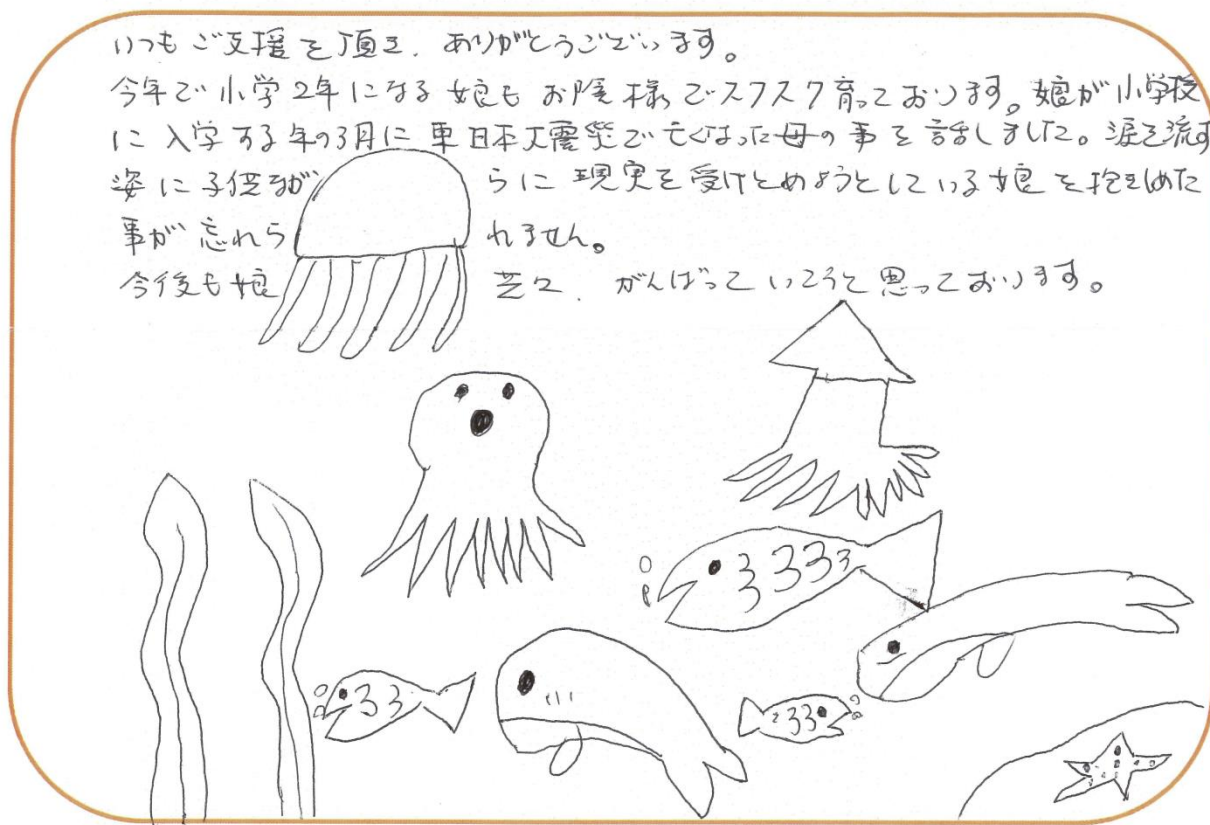


これは、わたしと犬のココです。小さい犬ですが、おなかいっぱいわかるので、あたまりるにしろをつけています。お山みたりなかせりです。



小学校2年生と父より

いつもご支援を頂き、ありがとうございます。
 今年が小学2年になる娘もお陰様でスラスラ育っております。娘が小学校
 に入学する3月に東日本大震災が起きた母の事を話しました。涙を流す
 姿に子供が「らに現実を受けとめよう」といって娘を抱きかか
 事が忘れられせん。
 今後も娘 芝々、がんばっていきましょうと思っております。



小学校6年生と父より

東日本大震災みやぎこども育英募金関係の皆さんいつも
 ありがとうございます。夢中で過した、六年間、長いようで
 短いこの日々の生活、荒れ狂った海・川のようでした。
 今は、娘も自分も、毎日の生活になれました。妻がいなくなり
 家での生活の大変なのが、身にしみて、わかりました。
 娘も六年生になり、せんたく、食事もてつだってくれるので、たすかります。
 学校の成績も、人なみのようでホットしております。
 震災の犠牲になった妻のためにも、がんばりたいと思います。仕事は
 しているのだが、さきがちょっと不安です。 (父より)

五年の時より、がんばったつもりです。国語は、あまり好きでないけれど
 算数と社会は好きです。二学期は、漢字の検定試験を受けるつもりです。
 ポケモン、ゲームも大好きです。 (娘より)



小学校5年生・中学校2年生・中学校3年生と祖父母より

色々な方々が私達に寄附をしてくださって、本当に感謝しています。今は不自由なく元気にくらしています。今私は、ピアノ・スイミング・じゅんを習っています。それができることがたくさんふえてきています。

(小学校5年生より)

色々な方達が、顔も知らない自分達に寄附をしてくださって本当に感謝しています。まだ、寄附金のことはあまり教えられていませんが、自分の将来に必要なので、とても助かります。現在の状況は、元気に暮らしています。2年生になって、勉強が難しくなるので、塾に通い始めました。そのおかげで、学校の授業についていけています。

(中学校2年生より)

震災から6年経た今でも寄附をして下さっている方々、有難うござい
ます。現在は、高校受験に向けて塾にも通い始め、勉強を頑張
っています。また、文化部のため、文化祭まで部活があるので、残り少ない
部活動を楽しみながら、勉強と両立できるよう、頑張っています。

(中学校3年生より)

いつも、お世話様になり有難うございます。

お陰様で孫たちは、毎日、元気に明るく、にぎやかに過ごしています。

東日本大震災から早6年4か月余りが過ぎました。

ようやく新しい地域にもなじみ、普通に近い生活ができるようになったと思っています。

長女、次女も中学生となり高校受験を控え忙しい日々を送っています。

三女も小学校高学年になり少しずつ難しい年代に入ってきました。

これから様々な難しいこともあると思いますが、健康に留意し

頑張っていきたいと思います。

皆様から頂いた育英資金は将来の教育費に充てたいと積立しています。

これからも宜しくお願い致します。

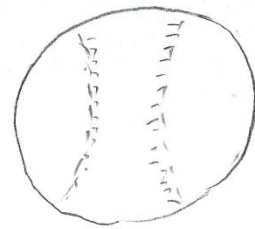
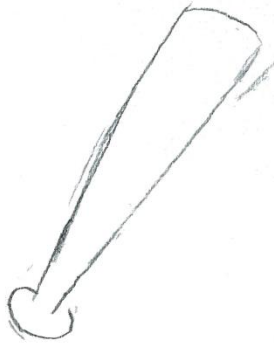
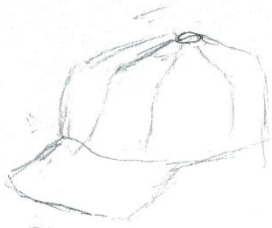
(祖父母より)



寄付してくださったおかげで楽しい学校生活
がよくなっています。
部活もしっかりと出来ているのでいただいたお金を
無駄にしないようにがんばります。

(中学校1年生より)

ぼくは来週の11月6日に合唱コンクールがあるので合唱を
がんばっています。勉強は2週間後にテストがあるので
1日1時間以上しています。部活は今オレゴンに入ってい
るので体力大りをがんばっています。



(中学校2年生より)

このような寄附のおかげで僕たちは今生活ができ、
学校にも行くことができているということを最近話しています。
そのような話が分かる年になったのだと
つくづく成長を感じます。
このようなありがたい皆様のご好意をうらぎらない
しっかりとした大人になってもらえるよう
母の私は子供たちの成長の支援を1番に頑張っております
将来子供たちが社会に恩返しできる大人になってくれればと思
います

(母より)



高校3年生と母より

いつも支援ありがとうございます。皆様の支援で高校3年まで進学することができました。

高校3年では本格的に大学進学が迫り、勉強もより一層力をいれていかなければなりません。志望校の合格に向けてしっかりがんばろうと思います。

皆様の支援で、志望校の選択肢が減ることも無く、自分の行きたい大学を選んでいけることに心から感謝したいと思います。

最近は天気の変り変わりが激しく、苦労されている方もいると思います。お体に気をつけてお過ごしください。

(高校3年生より)

東日本大震災がおきて、これまで子供たちへの御支援、深く感謝しております。

とし春には娘が、大学へ入学が決まり、今は、地域創造という、将来の街づくりに役だつのではという勉強を始めたところです。

高校3年の息子は、中学1年になる時、石巻から仙台へ引っ越してきて、息子なりに頑張ってきたことに息ぎれを起こしたのか、1年、2年と、高校で不登校になりました。高校の先生方のアドバイスや、心暖かい御支援のおかげで3年に進級ができて、本人は、進学への思いをつないでいくことができます。

母としては、二人の子供たちはもちろん、子供たちが、自分の命を大切に、人としていつかこれまで支援して下さった方々もしくは、これからの人々に恩がえしできる大人に育ててくれればと思っています。強いけれど優しく、人の気持ちがわかる人に、育ててくれることを願っています。

皆様には、本当に感謝しております。ありがとうございました。

(母より)

東日本大震災みやぎこども育英募金 寄附者の皆様へのメッセージ

発行：平成29年11月

表紙：P.1 小学校4年生より，P.2 小学校4年生より，P.6 中学校2年生より，
P.7 中学校2年生より，P.37 小学校1年生と保護者より，小学校2年生と祖母より，
P.38 小学校2年生と父より

宮城県保健福祉部子育て支援課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

T E L 022-211-2528

F A X 022-211-2591

E-mail kosodate@pref.miyagi.lg.jp

※ 個人が特定されないよう、県の責任において編集いたしましたことをご了承ください。